

広報じちしん

● 自治振興協議会連合会だより ●

▶ 第20号 ◀

【編集・発行】 福島市自治振興協議会連合会
【事務局】 福島市市民安全部市民協働課
電話(535)1111(内線)2174・2175



飯坂町平野地区より吾妻小富士を望む

会長あいさつ



福島市自治振興協議会連合会
会長 菅野 廣 男

「自治振興協議会連合会だより」の発行にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

自治振興協議会は、市民と行政がともに地域の課題解決や将来像などについて、直接話し合うことにより、情報を共有する場であり、昭和32年より福島市独自の制度として実施されております。協議会においては、各地区特有の協議テーマが提出され、地域の安全で安心して暮らせ

市長あいさつ



福島市長
木幡 浩

市民の皆さまには、日頃から市政各般にわたり、特段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

福島市長に就任して2年目となる今年、昨年、全国で多発した災害の教訓を踏まえ、国の対策なども活用しながら災害のための基盤整備や市民の安全安心の材料となる身近な福祉も含めた取り組みの強化を図りたいと考えております。

また、6月には東北絆まつりが福島市で開催されますので、福島の内

るまちづくりのため、行政との意見交換を行っております。近年は、地域課題も多様化しておりますことから、今後も市民と行政が車の両輪のごとく協力して、地域の課題解決に向けて取り組んでいく必要があると感じております。

さて、中核市に移行し1年が経過しますが、より地域の特色・実情を踏まえたまちづくりが進められており、自治振興協議会の果たす役割はさらに重要になると考えております。今後も自治振興協議会の活動を通じて、福島市のますますの発展に寄与してまいりますので、皆さまのより一層のご協力をお願い申し上げます。

気と魅力を全国、そして世界へと発信していきたいと思っております。

さて、私は政策を進めるにあたり、市民の皆さまとの対話と協働を基本とし、「開かれた市政」と「スピードと実行」の2つの市政運営方針を掲げております。自治振興協議会は、本市の歴史ある優れた制度であり、「開かれた市政」を進める上でも重要な役割を担う組織であります。

今後も自治振興協議会の皆さまとともに、オール福島で元氣あふれる福島市の新ステージを創ってまいりますと思っておりますので、引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

地区別開催状況・テーマおよび提案件数

区分 地区名	開催状況		協議テーマ件数		テーマトク件数		提案件数		
	月日	会場	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	
本庁	中央東	8月20日	保健福祉センター	2	3	1	-	13	18
	中央西	7月31日	三河台学習センター	2	3	1	-	7	11
渡利	6月26日	渡利支所	3	3	1	-	97	77	
杉妻	8月6日	杉妻支所	2	1	1	-	70	65	
蓬菜	7月4日	蓬菜学習センター分館	2	3	1	-	35	44	
清水	8月29日	清水支所	3	4	1	-	155	148	
東部	大波	7月10日	もちぎり学習センター	3	5	1	-	50	59
				計	91	104			
北信	瀬上 鎌田 余目	7月30日	北信支所	3	3	1	-	23	33
				計	129	136			
吉井田	6月27日	吉井田支所	4	4	1	-	68	36	
西荒井 佐倉	7月5日	西支所	2	5	1	-	35	26	
			計	127	129				
土湯温泉町	7月3日	サンスカイつちゆ	3	5	1	-	1	1	
信陵	笹谷 大笹生	6月29日	信陵支所	2	4	1	-	54	53
				計	108	122			
立子山	8月7日	立子山自然の家	2	2	1	-	22	22	
飯坂	飯坂 平野 中野 湯野 東野 茂庭	7月12日	パルセいいざか					26	25
				2	2	1	-	50	63
								14	21
								60	42
								22	19
計				187	184				
松川	8月21日	松川支所	3	4	1	-	186	175	
信夫	7月17日	信夫支所	2	3	1	-	203	203	
吾妻	7月11日	吾妻学習センター	3	2	1	-	190	171	
飯野	8月22日	飯野学習センター	1	1	1	-	59	70	
合計			44	57	18	-	1,748	1,716	

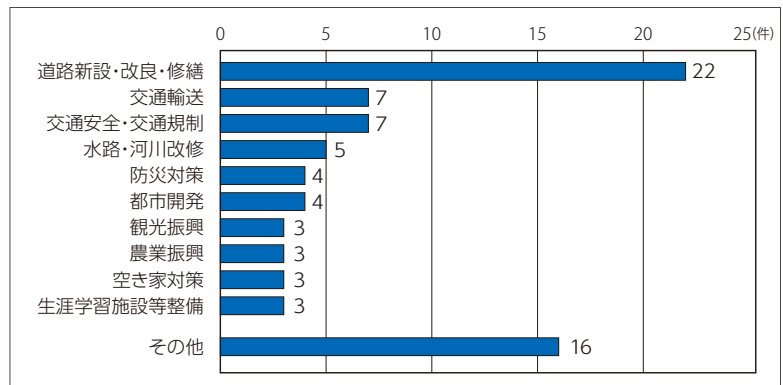
平成30年度
自治振興協議会
開催状況

平成30年度の自治振興協議会は6月26日の渡利地区から、8月29日の清水地区まで、一部合同開催を含め28地区18会場で開催されました。各地区合計で1661名の委員のうち、970名の委員の出席をいただきました。市からは市長をはじめ各テーマに関連する各部長などが出席して、それぞれの地区の課題解決に向けた活発な意見交換を行い、情報の共有を図りました。

協議テーマ

協議会当日の協議テーマ件数は、各地区合計で44件（複数の課題があるため、市からの回答件数は77件）を提出しました。協議テーマ44件のうち、新規が28件（63・6%）前年から継続しているものが16件（36・4%）となっています。市からの回答件数の内容別割合は、道路新設・改良・修繕に関するものが22件（28・6%）、次に交通輸送に関するものが7件（9・1%）同じく交通安全・交通規制に関するものが7件（9・1%）となっています。

昨年同様に道路整備に関する内容が多く提出されていますが、水路・河川改修に関するテーマが大きく増加しているのが特徴となっています。



◆平成30年度協議テーマ内訳

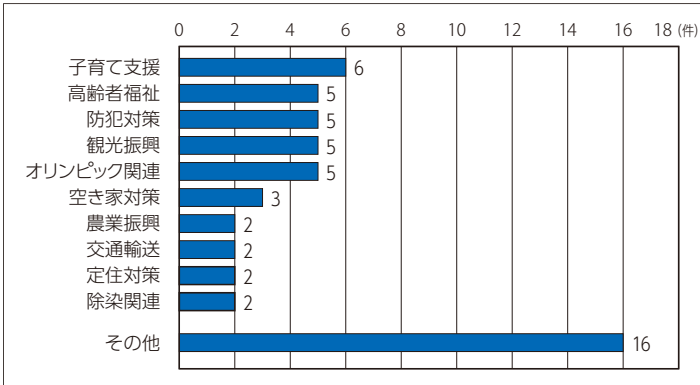
市の対応

協議テーマは、各地区自治振興協議会で十分に検討し、市に対して提案された、地区全体あるいは市全体に関わる重要な内容であります。

市では、重要性、緊急性を十分考慮し、課題解決に努めていくため、総合計画や各種まちづくり計画などと調整を図り、長期的な年次・財政計画で実現を図ってまいります。

平成30年度テーマトーク一覧

地区名	件名
中央 東	市民のおもてなし向上について
中央 西	福島駅西口周辺のにぎわい創出について
渡 利	本市の観光振興と花見山観光施策について
杉 妻	小学生の登下校時における安全対策の充実について
蓬 菜	福島市における人口減少・高齢化対策について
清 水	空家対策、空家の利活用について
東部・大波	大波地区における除染について
北信方部	子どもや高齢者が住みやすいまちづくりについて
吉井田	若者が福島市に定住するまちづくりについて
荒井・佐倉	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会野球・ソフトボール1次リーグの県営あづま球場開催に向けての取り組みについて
土湯温泉町	外国人旅行者の誘客と観光の振興について
笹谷・大笹生	ひとり暮らし高齢者対策について
立子山	一般廃棄物新最終処分場設置に伴う環境整備について
飯坂方部	旧堀切邸を活かした飯坂の活性化について
松 川	より良い子どもたちの教育環境について
信 夫	女性が活躍できるまちと地域づくり
吾 妻	福島市における超高齢化社会による要介護認定率拡大への対策について
飯 野	女神川の水環境美化について



◆平成30年度テーマトーク内容内訳



中央東地区自治振興協議会(平成30年 8月20日)

●市長との意見交換
(テーマトーク)

平成30年度から新たに設定されたテーマトークは、より良いまちづくりや様々な課題など主にソフト的な事項から、各地区においてテーマを選定して市に提出し、提出されたテーマに基づいて市長から市の現状や方針等の説明を行い、その後に市長と参加委員が活発な意見交換を行っています。

今回は、中央東地区自治振興協議会のテーマトークを紹介します。

「市民のおもてなし向上について」
(中央東地区)

テーマ設定理由

福島市では、花見山を中心とする自然の美しさや豊富な温泉などをPRし、観光客の誘致を推進しています。

また、東京オリンピック・パラリンピックでは、福島市の県営あづま球場で野球・ソフトボール競技の開催が決定しており、これを

契機に国内外から多くの観光客が来福すると予想されます。

そこで、訪れた方々が楽しく「福島市」を満喫してもらうための方策は様々ななかで、基本となるのは、接する市民一人ひとりの「おもてなし」の心が大切になってくると思いますテーマ設定しました。

市長からは研修の開催等を含めて市民の「おもてなし」向上のための具体策や来訪者にやさしい「おもてなし」の環境整備の具体策について説明がありました。

●参加委員からの意見

- 環境美化に気を配る必要がある。
- 公共交通の連携と観光モデルコースの作成をお願いする。
- ホストタウンのスイスなどのような交流をしていくのか。
- 来訪者に対しきちんと挨拶できるような具体的な取り組みをお願いする。

提案事項

平成30年度は、総数で1748件の一般提案を市に対して提出しました。

内容別では、道路側溝新設・修繕が372件(21・3%)、次いで水路・河川修繕が333件(19・1%)、交通安全施設整備が275件(15・7%)、道路拡幅改良・修繕が249件(14・2%)、街路灯設置が193件(11・0%)、道路舗装新設が78件(4・5%)となっています。

昨年同様に道路や水路、河川に関係する提案が全体の9割近くを占めています。

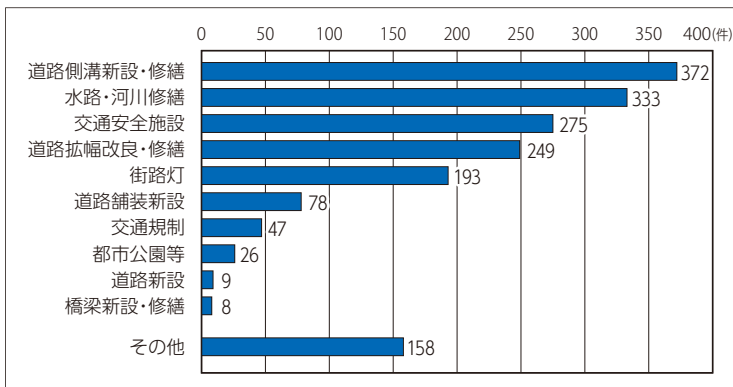
より良いまちづくりを進めるために、地区の皆さんが身近な課題について協議・提案を行うことにより、地区住民の意見が直接行政に反映されています。



市の回答

地域生活に密着した多くの提案が提出されていますが、市全体での実施率は約34%(平成29年度)と実施できる件数には限りがあります。

市では、事業の緊急性と市全体のバランスなど、総合的に勘案して事業を実施してまいります。提案内容の実現に向けて、最善の努力をしてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



◆平成30年度提案事項の内訳

会長コメント



平野地区自治振興協議会 会長 佐藤 建夫

平野地区は、福島市の北部及び飯坂地域の南端に位置し、国道13号や東北自動車道、福島交通飯坂電車などが通る交通の要衝地にあります。近年、交通の利便性の向上に伴い、福島市の

ベッドタウンとして大規模な宅地開発が進み、人口も増加傾向にあります。地区の主な産業は、モモ、ナシ、リンゴ、ブドウ等の果樹栽培を中心とした農業の他、多岐に亘る企業を有する準農村地域であります。

しかし、課題も多く、ゲリラ豪雨による道路や飯坂電車線路上の冠水対策、農業従事者の高齢化や後継者不足に伴う耕作放棄地対策等に取り組んでいるところですが、今後とも市と連携を図りながら、地域課題の解決に向けて努力してまいります。



医王寺(飯坂町平野)

協議テーマの実施状況

自治振興協議会の協議テーマは、各地区の重要な課題や提言について、地区より現状と課題の説明を行い、市はどのような解決方法があるのかを示し、より良い解決策について話し合いを行っています。協議テーマに提案された事業について紹介します。

森合地区における 交通手段の確保について (平成29年度協議テーマ)

森合地区でも少子高齢化が進んでおり、単身または夫婦世帯の高齢者が増加しています。車の運転免許証を返納すると交通手段がなくなり、高齢者の日常生活や通院・買い物等に不便をきたし生活に不安を感じていたことから、清水地区自治振興協議会では、地区内の大規模店舗や病院などを回るバスの運行を市に要望しました。市では、森合地区をモデル地区として平成30年1月からバスの実証運行を行い、その期間において目標値を上回ったことと、今後も継続した運行を望む声が多かった

森合団地線バス路線図



ことを踏まえ、平成30年6月より本格運行へ移行し、ヨークベニマル福島西店から福島駅を経由し大

原総合病院までの区間を一日6〜7便が運行されることになりました。これにより、交通手段の確保が

立田川の堆積土砂の 撤去・除草及び堰の修繕 について (平成29年度協議テーマ)

立田川は、立子山地区の中央を北より南に縦断して流れ、下流は阿武隈川に合流する延長約4kmの一級河川です。近年、堆積物に草木が繁茂して、流水断面が狭められている状況にあり、大雨になると立田川から田んぼに水が流れ込むこともあることから、立子山地

なされ安全で安心して生活ができるようになりました。今後とも継続的なバス利用をお願いします。

区自治振興協議会では堆積土砂の撤去や除草、そして老朽化している堰の修繕について市に要望しました。

市では、度重なる洪水の影響で取水施設の下流側コンクリートが破損し中詰め石が露出するなど、このまま放置すれば取水施設が大きく崩落し取水困難となることから堰の修繕を行いました。

今後も堆積土砂の撤去や除草に向け県に対して引き続き要望を行っていきます。



冠水時の様子



施工後



永井川地区濁川河川の水害対策について (平成30年度協議テーマ)

一級河川濁川は、昭和61年の「8・5水害」による大きな浸水被害をはじめ、台風や集中豪雨による浸水被害が多く、「水害」に対する住民の不安が大きな河川であります。特に市道光白・大釜線がJR東北本線を下越しする箇所では、周辺道路より低い位置にあることから、水路が溢水して道路が冠水する箇所があります。信夫

地区自治振興協議会では、護岸の嵩上げや流水の支障となっている支障木等の撤去や川底の浚渫、道路が冠水する場所の安全対策について要望しました。

市では、市道光白・大釜線の市道とJR東北線の立体交差部の内側壁面に、水没事故注意標示板を設置していましたが、外側からも容易に浸水状況が確認できるように外側にも道路冠水の高さごとにラインを色分け表示する安全対策を行いました。

今後も濁川の護岸の嵩上げや支障木等の撤去、川底の浚渫に向けて県に対して要望していきます。

地区じちしん紹介⑱

— 杉妻地区 —



杉妻小1年生と一緒に下校する活動を行っている黒岩子どもサポート会



杉妻地区自治振興協議会

会長 尾形 庄蔵

杉妻(すぎのめ)地区は、市の南部にあつて、国道4号、新幹線、さらには東を阿武隈川に接するところに位置しております。古くは、奥の細道を下つてきた旅人が峠を越えると目の前に福島が一望され、思わず拝んだことから伏拝と呼ばれたと聞いております。商業、工業、農業の混在す

る地域で、いわゆる職住接近の住みやすさから近年は住宅が拡大して約1万3千人の人口を擁しております。人口が増えるといういろいろ悩みも出てきます。個と集団、個と地域などにそれが現れます。杉妻では各町会が中心となって祭礼など多彩な地域活動を繰り広げて住民の参加を求めています。ここでのつながりこそ、住みやすい安全安心な杉妻につながるものと考えております。

今年度の自治振興協議会では、①児童の通学路の安全対策、②生涯学習のよりどころとしての学習センターの拡充をテーマとして協議いたしました。読者の皆様も「これこそ生涯学習。そして健康ボランティア」とご理解されて地域活動に奮って参加されんことを期待いたします。

平成30年度

地域づくり支援事業

地域づくり支援事業は、地区自治振興協議会を通じて提出された提案などを、地域の皆さん自らが緊急性や利便性などについて話し合い、事業選定を行っていただくことで、市民と行政が協働で安全安心な住みよい地域づくりの推進を図ることを目的としています。

この事業は、ハードとソフトの両面からなる2つの事業で形成しており、ハード事業の「地域生活基盤整備事業」は、道路側溝や交通安全施設等の生活基盤の整備を行う事業です。一方、ソフト事業の「地域コミュニティ等支援事業」は、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化などに取り組み、地域活動を支援する事業です。

地域生活基盤整備事業(ハード事業)

地域生活基盤整備事業は、地域生活における身近な生活基盤の整備を行うことにより、住みよい地域づくりの推進を図ることを目的とした事業です。地域全体の視点に立ち緊急性・利便性などを考慮し事業が進められ、平成30年度は、約1億5千万円の事業費で、街路灯設置や道路反射鏡設置、道路側溝新設・修繕など各地区で計395件の事業が実施されました。これにより、身近な地域課題の解決につながり、地域住民の不安解消など、安全で快適な住みよい地域づくりの推進が図られています。

平成30年度地域生活基盤整備事業 実施状況(ハード)

事業内容	件数	比率
1 街路灯設置	140	35.4%
2 反射鏡設置	67	17.0%
3 道路側溝修繕	58	14.7%
4 道路除草	56	14.2%
5 カラー舗装	14	3.5%
6 道路防護柵設置	13	3.3%
7 道路側溝新設	11	2.8%
8 その他	36	9.1%
計	395	100.0%

(平成31年2月末現在)

道路側溝新設工事(東部地区)



施工前



施工後

平成30年度地域コミュニティ等支援事業 実施状況(ソフト)

団体種別	件数	実施内容等
町内会、連合会等	42	掲示板設置、広報誌作成、不法投棄防止活動、見守り・環境美化活動等
交通対策協議会	15	事故防止看板設置、交通安全啓発活動等
見守り団体	10	小学校登下校の見守り活動等
市民活動団体	9	観光案内版設置、地域のコミュニティ活性化、景観保全活動等
健全育成推進団体	8	交通安全啓発活動、防犯活動、見守り活動等
交通安全母の会	6	交通安全啓発活動
防犯協会	4	防犯カレンダー作成等
計	94	

(平成31年2月末現在)

地域コミュニティ等支援事業は、地域の課題解決や地域コミュニティの活性化などに取り組み、地域活動を支援する事業です。平成30年度は、2月末現在で約1407万円の事業費で、町内会報作成や掲示板の設置、不法投棄防止などの地域環境整備事業、交通事故防止活動や防犯活動、児童生徒の見守り活動など、地域活動を行う94団体に対して補助がされました。これにより、地域コミュニティの活性化が図られ、安心して暮らせる地域社会づくりの推進につながっています。



見守り活動(清水地区)

地域コミュニティ等支援事業(ソフト事業)

連合会活動報告

総 会

平成30年度福島市自治振興協議会連合会総会は5月11日に開催され、平成29年度の事業報告、収支決算報告、平成30年度の地区自治振興協議会の開催要項や事業計画案、収支予算案について審議しました。

研修会および意見交換会

8月31日に開催した市政研修会では、市都市計画課より、「福島市公共施設の戦略的再編整備検討委員会及び福島市中心市街地将来ビジョン検討委員会」について説明を受け、それぞれの検討委員会の設置目的や役割について理解を深めました。また、11月20日には当市にも甚大な被害を及ぼす原因となった福島第一原子力発電所の視察を行い現状や廃炉に向けた取り組み状況を研修してきました。

10月22日から24日にかけて、優良都市視察研修として静岡県の富士市役所と沼津市役所を視察しました。富士市では、「南海トラフ地震及び富士山の火山を想定した

防災対策」について、沼津市では、空き家や空き店舗などの遊休不動産を活用し地域活性化につなげる「リノベーションのまちづくり」について、それぞれ事業内容の説明を受けてきました。また、沼津市では地域の代表者と、地域の課題解決に向けた取り組みなどについて意見交換を行いました。

11月28日には、各地区自治振興協議会会長による意見交換会を開催し、次年度の開催に向けて意見交換が行われました。



優良都市視察研修会（富士市役所 平成30年10月22日）

国・県等要望活動

福島市自治振興協議会連合会では、国や県などが所管する道路や河川の整備・改修、信号機設置等について、地域の声を直接伝えるために、国・県などに対して要望活動を実施しています。

本年度は、福島県東北建設事務所に対し、道路改良及び河川改良に関する要望書5件を提出しました。

要望案件については、いずれも、子どもからお年寄りまで安心して快適な生活を送るために、大変重要な課題でありますので、引き続き国や県に対して地域の声を直接伝えてまいります。



市政研修会（福島第一原子力発電所 平成30年11月20日）



要望活動（平成30年11月2日）

要望内容

- 1 都市計画道路矢剣町渡利線ほかの整備促進について【渡利地区】
- 2 国道115号の整備改善について【大波地区】
- 3 主要地方道土湯温泉線（福島松川スマートインターチェンジ付近）の歩道設置について【松川地区】
- 4 永井川地区濁川河川の洪水対策について【信夫地区】
- 5 主要地方道川俣・安達線道路改良工事の早期着工について【飯野地区】